

# みつけた!

福岡県保育協会通信



Discovery.

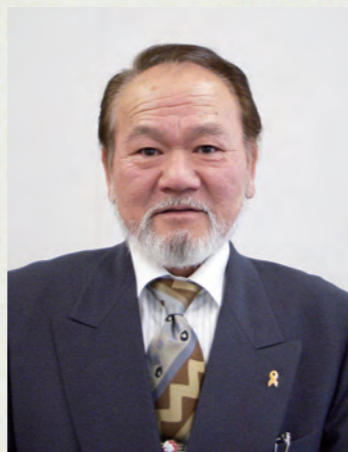
By mutual confidence and mutual aid,  
Great deeds are done, and great discoveries made;  
相互信頼と相互扶助にて、偉大なる行為はなされ、偉大なる発見がなさる。  
—ギリシアの詩人 ホメロス

福岡県保育協会会長あいさつ	2-3
福岡県知事ごあいさつ	4
福岡県保育士会会長あいさつ	5
ブロック大会（筑豊地区）	6
公立発信	7
新園紹介	8-9
コラム 福岡県立大学 福田恭介	10
コラム 生の松原子どもスコレ 山下麻里	11
福岡県保育士就職支援センター・編集後記	12



福岡県保育協会会長 万田 康

## あいさつ



皆様におかれましては、日頃からそれぞれの保育現場で次代を担う子ども達を心身共に健やかに育てるため、深い愛情と情熱を持って全力で取り組まれ、「子どもの最善の利益と育ちを保障する」児童福祉法の理念の下、保育事業の発展と充実に御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

近年、子育てで家庭を取り巻く環境が大きく変化中、家族構成のあり方や地域の繋がりが希薄化するに伴い、家庭や地域の養育力が低下し、子育てに不安や孤立感を深める親が増加するなど、働き方の変化による家庭環境の変化とも相まって、子どもの幸せと命を守るための支援は、保育所だけの取り組みでは対応できないほど、深刻な状況になってきております。

このため、すべての人が子どもと子育てに関わりを持ち、子どもが健やかに成長できる環境整備が強く求められております。

特に都市部における待機児童の問題や、地域の実情に応じた体制の整備など、子育てをめぐる課題は数多く、地域全体で子育てを支援する体制や、安心して子どもを産み育てることが出来る環境づくりが一層求められているところでございます。

このような状況の中、子ども・子育て支援新制度は、早ければ平成27年4月に全面施行されます。施行前の支援策として提示された「待機児童解消加速化プラン」が本年度から、また平成26年4月からは、8%に引き上げられる予定の消費税を財源として「保育緊急確保」が行われる計画となっております。

子ども・子育て支援給付・事業の実施主体となる市町村は、国の基本指針や基準を踏まえて都道府県とも調整しつつ、市町村の事業計画の策定、基準の検討、必要な条例の制定を行ったうえで、施行までの事前準備としての認可・確認事務等を行う必要があります。このため、国においては基本指針や基準

用の検討は、その過程を対外的に示しながら概ね25年度中に終える、すなわち25年度中に関係政省令や告示を公布するとされています。

基本指針は平成25年8月頃までに、保育の必要性の認定基準などについては平成25年の末までに検討を行い、平成25年度末までの政省令等の公布に向けて色々な事が決められてくることとなります。公定価格については、昨年度実施された経営実態調査の結果を踏まえたうえで、平成26年度当初に骨格が提示されてくることとなります。平成26年度の概算要求までには様々な内容がより具体的に決まり、それを受けて認可確認の事務手続きが平成26年秋以降に行われ、平成27年4月から制度本格実施の予定となっております。

なお、幼保連携型認定こども園保育要領（仮称）は、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程分科会認定こども園教育専門部会と、社会保障審議会児童部会認定こども園保育専門委員会の合同検討会議において検討されています。平成25年6月21日に第一回検討会議が開催され、平成25年夏から秋頃に中間とりまとめ、平成26年1月には議論のとりまとめを行う旨のスケジュールが示されています。

全国保育協議会の「子ども・子育て支援新制度」に対する意見として、

## 1. 保育の質と量の確保について

児童福祉法により市町村には保育の義務が定められており、特定市区町村は、保育事業の供給体制の確保に関する計画の策定が義務付けられています。この計画の実行が進まない原因を究明し、必要な財源投入をはじめとする具体策を進める必要があります。その際、保育の質を確保するためには、児童福祉施設としての認可基準を満たした保育を整備することを基本とすべきです。

## 2. 保育の必要性の認定について

保育の必要性の認定に当たっては、親の就労状

況にのみ左右されるのではなく、保育を必要とする子どもの視点に立って認定することが必要です。

## 3. 公定価格と利用料について

保育所や新・幼保連携型認定こども園の公定価格については、次の観点を踏まえ、早期に算定基準を明示される必要があります。

- ① 現行の保育所運営費において8時間・22日間開所の考え方の下に算定された金額を、多くの保育所の運営実態である11時間・25日開所に合わせた金額設定に是正する必要があります。
- ② 平成24年度補正予算において、保育士等処遇改善臨時特例事業が盛り込まれましたが、さらに充実を図った上で公定価格に組み込み、恒久化を図るべきです。また、現行保育所の各種加算について、継続・充実を図るべきです。
- ③ 利用料については、保育所、幼稚園、新・幼保連携型認定こども園の三者間において整合性のある統一料金となるよう同等の積算基準を設ける必要があります。

## 4. 施設整備の給付費への組み入れについて

- ① 新・幼・保連携型認定こども園は、設置主体が限定されたことから、施設整備費助成についてはこれまで通りとし、減価償却相当分を給付費に組み入れる必要はありません。
- ② 保育所は、株式会社等が設置主体として認められていますが、公の支配に属さない株式会社等に対し減価償却相当分を給付費に組み込むことは、施設整備に公費補助を行うこととなります。そこで、運営費の用途制限、解散時の財産の国への帰属など強い規制のある社会福祉法人を踏まえ、株式会社についても用途制限や事業撤退の規制をしてください。なお、当分の間は施設整備費の充実を図ってください。

## 5. 保育教諭への移行について

保育教諭への移行が円滑に進むよう、実態にあったさまざまな支援策が講じられる必要があります。

## 6. 新・幼保連携型認定こども園保育要領（仮称）について

新・幼保連携型認定こども園保育要領（仮称）については、保育所保育指針を基本とするべきです。

## 7. 公立保育所の財源について

平成16年度に公立保育所の一般財源化が行われましたが、このたびの新制度では「施設型給付」が創設されたので、改めてこれに統一し、公私の保育所の質を一体的に整えることが制度の趣旨に合致するものです。

この7点を内閣府に意見提出し現在、私も全保協会長として、本県の会員の皆様や全国の会員の皆様の意見や要望を反映させるべく、他の全国保育団体と協力しながら、利用者や、我々事業者にとってより良い制度となるよう尽力しているところです。

新制度と関連の深い「規制改革会議」の議論の動向は、本年1月以来12回の会議を経て6月5日に「規制改革に関する答申～経済再生への突破～」が総理に手交されました。保育分野については、2月25日の第三回会議から本格的な検討が開始され、保育チームが規制改革会議内に設置されました。その後、5月2日に保育に関する規制改革会議側からの見解が整理され、(1)株式会社の参入拡大、(2)認可外から認可保育所への移行促進、(3)質の評価の拡充（第三者評価の受審率評価設定）、(4)保育士数の拡大、等が論点となっています。その後検討結果として、当初議論されていた基準緩和による量の確保は盛り込まれず、質を担保しながら（現行の運営・設備基準の堅持）認可外を認可保育所に引き上げて（質を確保しながら）量も拡大する方向として整理され答申に至りました。なお、株式会社の保育参入拡大の点は、27年度施行予定の新法を前倒しで適用するのではなく、新法の趣旨（外形基準を満たして、需要が多い地域において設置申請があった場合は原則認可し、株式会社を排除できない仕組み）を踏まえた積極的かつ公平公正な認可制度の運用について、5月15日付で雇児局長通知が発出されました。また、社会福祉法人の経営情報（財務諸表）の公開について、「規制改革会議」からの要請に応え、厚生労働省からは広報誌やインターネットによる一般公表の推進、所轄庁等のホームページ等での閲覧等の取り組みを進めるべく、5月31日付で雇児/老健/社援局長連盟通知が発出されました。同通知では、9月末までに社会福祉法人及び所轄庁の取り組み状況について調査し、同会議に報告されます。平成25年6月14日には、これらのことを盛り込んだ「規制改革実施計画」が閣議決定されました。

「子ども・子育て支援新制度」については、保育所でも、認定こども園でも保育所の本分は児童福祉施設です。『子どもの最善の利益を守る』を念頭に置き、保育所保育は児童福祉が原点であるということを見失わないように取り組んでいく必要があると思います。



福岡県知事 小川 洋

## ごあいさつ



福岡県保育協会におかれましては、日ごろから保育活動に大変熱心に取り組み、子どもたちの健やかな成長と子育て家庭の支援に多大な貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

乳幼児期は、人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。基本的な生活習慣や態度を身につけ、人に対する愛情や信頼感を育み、さらに自然や社会について興味や関心を育てることが、子どもたちの健やかな成長には欠かせません。

一方、保護者の中には、子育てについての相談や、助けを求める相手が身近にいないなど、子育てに孤立感や不安感を抱く方が年々増えていると言われています。

このような中、保育所は、子どもたちの心身の健全な育成や、仕事と子育ての両立支援はもとより、子育てに関する相談や助言、交流の場の提供など、地域における子育て支援の拠点として、重要性を増すとともに、大きな期待が寄せられるようになっていきます。子育て支援の第一線で活躍されています皆さまにおかれましては、よりよい保育を実現するため、なお一層ご尽力いただきますことを、心から期待します。

福岡県では、県政推進の指針である「福岡県総合計画」の中で「安心して子育てができる社会づくり」を施策の柱の一つとして掲げ、全力で取り組んでいます。

保育環境の充実を図るため、市町村と連携しながら保育所の創設や増改築を積極的に進めています。

また、保育の質をより高めるため、貴協会のご協力のもと、新任の保育士から主任、所長に至る階層別研修や、乳幼児保育、障害児保育といった専門性の高い各種研修を実施し、保育の現場で活躍する皆さまのきめ細かなサポートに努めています。

今年度からは新たに、増大する保育需要に対応する保育士の確保を図るため、7月に貴協会内に、「保

育士就職支援センター」を設置し、保育に精通したコーディネーターが就職を希望する保育士と保育所との間できめ細かなマッチングを行うことにより、保育士の就職を強力に支援しているところです。加えて、保育士の処遇改善に取り組む民間保育所への支援を行うこととしています。

国においては、昨年8月に子ども・子育て関連3法が成立し、早ければ平成27年度から子ども・子育て支援新制度の本格実施が予定されています。本県では、子ども・子育てに関する施策に、保育所をはじめとする子育て支援関係者の意見を反映させるため、子ども・子育て会議を設置し、すべての市町村において新制度が円滑に導入されるよう、的確な助言や支援を積極的に行ってまいります。

さらに、次代を担う子どもたちには、夢や希望を持ち、心豊かにたくましく育てて欲しいと思います。そのためには、社会全体で子育て家庭を応援することが重要です。

県でも、子育て家庭への支援を行う「子育て応援の店」や仕事と家庭の両立を支援する「子育て応援宣言企業」の登録を積極的に推進するとともに、高齢者の豊かな経験や知識を活かして、地域の子育て支援の現場で活躍していただく「ふくおか子育てマイスター」の養成を行うなど、さまざまな施策を実施しております。

これからも皆さまと力を合わせて子育て支援施策に取り組んでまいります。こうした県の子育て支援の取り組みについても、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

貴協会のますますのご発展と、皆さまの今後一層のご活躍を心から祈念いたします。

福岡県保育士会会長 上村 初美

## あいさつ



去る、平成25年度の福岡県保育士会総会において、福岡県保育士会会長として再任されました。また、全国保育士会委員総会においても会長として再任され、平成27年度からの保育制度の大きな変革期に、この任につき責任の重さをひしひしと身の引き締まる思いで受けとめております。どうぞご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、今、国の方では、子ども・子育て会議が4月より始まり、それとあわせて、子ども・子育て会議基準検討部会も月1回のペースで進められています。これらの会議では、保育制度の根幹となるところの検討です。これらの検討をもとに、保育の実施主体である市町村での検討が始まっていくわけですが、私たちは細やかな緊張感を持って対応していかなければなりません。先日、「子ども・子育て支援法に基づく基本指針(案)」が出されました。この基本指針には、子どもの育ちに関する理念が書かれています。「とりわけ、乳幼児期は、心情、意欲、態度、基本的な生活習慣等、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期である。」とし、それぞれの発達において詳しく書かれ、「乳幼児期の発達は、連続性を有するものであるとともに、一人一人の個人差が大きいものであることに留意しつつ、乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、発達に応じた適切な保護者の関わりや、質の高い教育・保育の安定的な提供を通じ、その間の子どもたちの健やかな発達を保障することが必要である。」と書かれています。また、市町村との連携を取ることや「保育の質」のこともしっかりと書き込まれているのですが、私の心配は、これらが、単なる「絵に描いた餅」とならないかということです。

保育制度を考えると、私たち保育士は、「子どもの最善の利益」を考慮し、今何をしなければならないのかという視点を見失わないことが大切です。私たちは、今社会に対し「保育」の説明の責任があるのだと思います。養護と教育が一体となった保育の説明は、私たちがしなければなりません。子どもの育ちは、0

歳児から始まり、そこには丁寧な関わりを必要とし、愛着形成がなされ情緒の安定から信頼関係を築いていくのです。人としての基盤が形成され、成長する過程において、私たちに一番大切なことは、一人ひとりの子どもの代弁者となることです。

今回、全国保育士会では、保育所における保育の解説DVD「保育所は、命を育み、学ぶ意欲を育てます。」を作成致しました。東京大学大学院教育学研究科教授

秋田喜代美先生に監修して頂きました。「全国の保育所では専門家である保育士の先生が、毎日の暮らしを大切に、子どもたち一人ひとりの心身の育ちに寄り添い、乳幼児期にこそ大事にしたい経験を保障しています。そして保護者や地域の方々と共に、未来と希望を自ら作り出す賢さをもつ子どもを育てています。本DVDをみていただくことで、このことを実感を持って納得できるでしょう。保護者や地域の方に保育所をよりよくわかっていただくために、このDVDを各園の知恵でいろいろな場でぜひご活用下さい。」と推薦の言葉もいただき、今、全国の保護者の皆さんに発信しているところです。ぜひ、みなさま方の保育所でも、入園式や保護者会、保育参観、又地域での子育て支援等の場でご活用下さい。合わせてよろしく願いいたします。

さて、県保育士会の取り組みとしては、去る5月11日には日本保育学会で、長年取り組んできた「気になる子」の保育者のための保護者の支援の手引きを作成し、研究部会のメンバーの皆さんと共に発表してきました。フロアーからは大変関心を示していただきました。今年度は具体的に地方ブロックごとにこの研究を広めています。また、筑後地方の保育士会の研究成果を今年度は、第57回全国保育研究大会(岩手県)で発表することとなっています。多くの会員の皆さんに参加していただきたいと思います。研修体系に基づき各園でできる研修、地方でできる研修、県や国でできる研修を位置づけ、一人ひとりの会員の皆さんが学べる機会を提供し、保育の質の向上を目指したいと思います。



第56回 筑豊地方保育事業研究大会

新入ひまわり保育園 園長 日野 智



『生きることの豊かさ』を実感し、  
こどもと未来をつなぐ社会をめざそう

平成25年6月9日、ユメニティのおがたに於いて、第56回筑豊地方保育事業大会を開催いたしました。今大会は大会主題のとおり、現代の物質的に偏りがちな豊かさをもう一度見直すなかで、子どもたちが「生きることの豊かさ」を感じ、幸福感を共有するために、「子どもが愛されている。居場所がある。」と実感がもてる子育てを保護者と共に未来へ繋いでいきたいとの保育者の想いを表現することに加え、保育所関係者が未来に向かって希望をもって子どもたちやその保護者と歩んでいけるようにとの願いを込めて企画したものです。

当日は雨模様にもかかわらず、1200名を超える保育関係者が集い、その中で大会主題に思いを馳せながらこれからの筑豊地方の保育の充実のために、私たちが今何をやっていかなければならないかを考える良い機会になったと思います。

大会はまず、式典に先立ち事例発表が2題あり、最初に萬福寺さくら保育園の壬生善海園長から「東日本大震災に学ぶ事」とのテーマで、平成25年2月25日、26日の2日間、被災地で調査、聞き取りされたことについてお話がありました。とても事例発表の中だけでは言い尽くせない内容ですが、短い時間の中で被災地での保育関係者の体験を生き生きとまた、わかりやすく伝えて頂きました。会場で聞いていた私たちも、もし自分のところでこの様な災害が起こったらと改めて日頃からの危機管理の大切さを実感しました。次に小竹町立保育所の山本由紀子所長からテーマ「こころの栄養 絵本タイム」という発表があり、子どもたちが絵本に親しむ環境作りを保護者と一緒に保育所が実践している取り組みが報告されました。子どもたちが大好きな絵本である故に、工夫することでそれが最大限活かされることがよくわかりました。

アトラクションをはさんで、大会式典となりましたが、今回は万田会長の全国保育協議会会長就任もあって、たくさんの来賓の方々がご臨席され、華を添えて頂きました。

なお、式典では一般表彰者37名がこれまでの保育所業務に貢献した功績をたたえられ、被表彰者を代表して、感田保育園高原美樹保育士が万田会長から表彰状を授与されました。高原保育士の謝辞にもあったように、被表彰者の皆さんがこれを励みとし、より一層保育に邁進されていかれることを期待しております。

記念講演は、武庫川女子大学教授の倉石哲也先生に「いま、求められている保育士の新たな役割～子育てに困難を抱える保護者の理解とその対応を考える～」という演題でお話いただきました。保育士の保護者支援の理解やその方法についてとてもわかりやすいご講演でしたが、先生にとっては時間が短く、資料をかなり飛ばしてお話しされており、言い足りないところがいっぱいあったのではないかと危惧しております。先生には大会前日から来ていただき、少人数ではありましたが、交流会をもち、その気さくなお人柄から、いろいろな質問や意見に対し丁寧にお答え頂きました。是非もう一度先生にゆっくりお話して頂く機会をもちたいと思っています。

最後に、文中にも少し触れていますが、この大会の直前に万田会長が全国保育協議会の会長に就任されたとのニュースが入ってきました。全国保育士会会長の上村先生もいらっしゃるこの筑豊地方としては、これを誇りとするとともに、微力ながらお二人を支え、子どもたちの最善の利益を一番に考える保育を全国に発信していければと考えています。

公立  
発信

地域に開かれた保育所づくり

吉富町立吉富保育園 園長 佐伯 フジエ



吉富町は福岡県の最南東端に位置する福岡県内でいちばん小さな町です。東は山国川を境に大分県中津市に隣接し、山国川と佐井川の豊かな流れに育まれた田園地帯と周防灘に面した漁村地帯がある自然豊かな町です。町内には保育所が3園(私立2園・公立1園)と公立幼稚園1園(5歳児・1年保育)があります。

◆公立の取組◆

少子化・核家族化が進み、共働き世帯の増加や就労時間が多様化する中、公立の保育園・幼稚園の就園率は減少し、定員割れが深刻となっていました。町の行政改革で保育園の中に幼稚園を移転し、多様化する保育ニーズに対応できる施設として、平成20年4月から「吉富町幼保一体化施設(こどもの森):吉富幼稚園・吉富保育園」の運用を開始しました。保育園長が幼稚園長を兼務し、職員は保育士と幼稚園教諭を兼務することで、幼・保の一体的な運営が可能となり、今では定員割れも解消され、保育や就学前教育の充実を図っています。

◆地域との交流を通して◆

本園ではさまざまな交流を通して、地域に開かれた園づくりを発信しています。〈お年寄りとの交流〉

毎月、町老人会の誕生会に年中・年長組の子ども達が交代で参加し、「掛図(お話)」や「おどり」を披露しています。また、おばあちゃん達が園を訪問してくれ、園児との交流を楽しんでいます。そのほか、デイケアセンターへの訪問など、核家族化が進んでいる今、お年寄りとの交流を深めることで、人と人とのかかわりを大切に、人間性豊かに育ってくれることを願っています。

〈私立保育園との連携〉

毎年、小学校の運動会に私立・公立3園が合同で出場しています。3園が連携する機会を持つことでお互いが刺激を受け合い、保育士や園児間の交流も深まり、

その中で共に育ち合っていることを地域に発信するよい機会となっています。

〈小学生・中学生との交流〉

毎年9月に中学3年生、11月に小学5年生が保育士体験で園児と交流しています。ただ園児と遊ぶのではなく、中学生や小学生自身が目的を持った活動を考え実践することで保育士の仕事を実感してもらっています。園の卒園児も多く、成長した姿に接することで、地域の中で確実に大きく育っていることを確信し、この交流を通して園児も小・中学生も地域の中の一員としてさらに大きく成長してくれることを願っています。

2月には小学校で体験入学があります。保育士体験をした小学5年生が中心となって学校生活の楽しさを教えてくれます。これがスムーズな入学へのサポートとなり、保護者も安心して就学を迎えることができています。

〈障がい児の受け入れ〉

障がい児や気になる子どもの受け入れには「共に育ちあう」ことを目的に、一人ひとりの個性を大切にしながら仲間として育ちあう保育を心がけています。また町の保健師さんとも連携をとりながら、地域に開かれた保育園として子育て支援を充実していきたいと思っています。





# 新園紹介

## ゆたか保育園

ゆたか保育園 園長 岩本 てるみ

はじめまして。ゆたか保育園です。

本園は届け出保育施設「ゆたかこどもえん」として平成20年11月1日に開園いたしました。4年6ヶ月を経て平成25年4月1日より「社会福祉法人一心会ゆたか保育園」として再スタートさせていただきました。

木造平屋の60名定員の保育園で、天拝山と四王寺山、宝満山に囲まれ、太宰府天満宮、太宰府政庁跡等、ゆたかな自然と歴史の町で地域の方々の温かい愛情に包まれて、子ども達は伸び伸びと育てられています。外でどろんこ遊び、水遊び、虫捕り遊びで夏を満喫するように楽しく遊び、また、畑できゅうり、トマト、南瓜、茄子、ゴーヤ等の野菜を育て、収穫してお昼ご飯に皆で食べたりもします。自分達で育て、収穫したものはやはり格別のように酔の物にすると汁まで飲んでくれています。他にも週一回体育の時間、英語の時間、空手の時間を取り入れています。そんな子ども達の姿を見て目を細めて見ている私共ですが、喜びと幸せを与えてくれる子ども達にいつも感謝しております。

ゆたか保育園のスタッフ・保護者・園児の理想の人間像として、「感謝のこころを持つ子ども」「思いやりの心を持つ子ども」「自分で考えて行動する子ども」を掲げていますが、その為に（食べる事が一番大事）を基本に様々な環境を提供していきたいと思えます。

そして次世を背負っていく子ども達の自立と自律の為に、これからも子ども達、保護者の方々を優しく包みこめるような、家族のような家庭のような保育園でありたいと頑張っております。



## 青葉はるまち保育園

青葉はるまち保育園 園長 飯田 大輔

本園は、糟屋郡粕屋町にあるJR原町駅前に定員120名で開園いたしました。社会福祉法人純正福祉会は、青葉保育園を昭和55年4月に設立し、地域に開かれた保育園にと保育に携わって33年が過ぎました。子どもや家族を取り巻く環境は大きく変容していくなか、保育ニーズは一段と多様化してきております。その中で青葉保育園も社会のニーズに対応するため、地域にアンテナを張って保護者の育児と仕事のお手伝いができるよう取り組んでいます。

青葉はるまち保育園も青葉保育園の保育理念・方針を引き継ぎ、保育をおこなっております。実際には、「応答的保育」の理論を実践に結び付けるために、0歳、1歳、2歳児は担当制保育に取り組み、子どもは大人によって生命を守られ、愛され、信頼されることによって、自分も大人を愛し、信頼していくようになります。そして人間関係の基本を学んでいます。一人ひとりの育ちをしっかり援助できるようにゆとりをもってぬくもりを伝えていける保育をおこなっております。また、3歳、4歳、5歳児は異年齢混合保育に取り組み、他者に対する思いやりやいたわりの心を育み、集団生活によって子ども自身の立場を自覚し、行動する力、すなわち自分で考えて選択し、決定する保育をおこなっております。私たちは、子どもをお預かりする以上、保護者に代わる保育士と子どもの関係が密接で深くかかわることができるよう、環境や人との関わりは適切かどうか、細やかに準備された環境を提供し援助するにはどうすれば良いか学び続け、毎月の園内研修、クラスごとの研修、さらに全職員が一体となって研修を積み重ねております。



## きらら保育園

きらら保育園 園長 坂本 清美

社会福祉法人さつき福祉会きらら保育園は、福岡県で3園目、筑後地区では初の認可夜間保育園です。平成24年10月に久留米市の街中に開園しました。定員60名、開園時間（朝延長7:00～）11:00～22:00（夜延長～2:00）で給食は昼食、夕食を提供、保護者の多様な就労形態に対応し、保育を行っています。

『子どもの最善の利益を第一とし、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児の保育を良い環境の中で行う。地域社会と協力し、保護者との連携を図り、子どものより良い福祉を推進する。』を保育理念として安全、安心、安定を配慮し日々、保育をしています。

屋上の園庭にはすべり台や鉄棒を設置して、目の前に小頭町公園があり外遊びに出かけています。「心身ともにたくましい子ども」「やさしくおもいやりのある子ども」「あきらめない子ども」「自ら思いを伝え、行動できる子ども」をめざす子どもを目標としています。

1クラス10～12人で3、4、5歳児は縦割り保育を行い、子ども一人一人の気持ちに寄り添いながら、家庭的な雰囲気的大事にしています。さまざまな経験を通して達成感や自己肯定感を養う保育の実践を心がけています。

子どもの笑顔が保護者の笑顔につながり楽しい子育ての支援ができるよう職員一丸となり保育に努めてまいります。



## 白梅保育園

白梅保育園 園長 徳永 佐代子

白梅保育園は社会福祉法人うら梅の郷福祉会所属の4番目の園として、平成25年4月1日朝倉郡筑前町に定員90名で開園いたしました。

筑前町の低年齢児童の入所増加に伴う対応、保育所未設置地域エリアの保育施設としての対応、管外からの入所対応等、町の保育事業で重要な役割を担う施設と期待されています。

木造平屋造りの園舎からは、木のおいが漂い、ゆったりしたぬくもりを感じ何かしら昔の学校を思い出すような雰囲気があります。園の南側には広い運動場があり、その向こうには畑が広がって、雑木林が茂り、横の小道を散歩しながらタンポポの綿毛を飛ばし、テントウム虫を見つけては大喜びの子どもたちです。

保育方針では一つに「日常生活の中で進んでお手伝いができる子ども」を目標に掲げ、保育の中で手伝いができる機会を多くし、生涯にわたる生きる力の基礎を培ってほしいと思っています。

白梅は、冬の寒さに耐え、春に先がけの花よりも香り高さ花を咲かせます。白梅保育園の子どもたちはこの白梅の花のように、「元気で明るくたくましく、そしてどこか気品が漂う」そんな子どもに成長してくれることを目標に保育してまいります。どうぞよろしくお願致します。





★1回目

あゆみ先生の  
気がかりなこと

保育士のあゆみ先生には気になる4歳児の男の子がいます。それはさとるくんのことです。さとるくんは、ブランコの順番を待っている友だちの列に割り込んでしまい、それを注意した友だちのりょうくんにかみついて、突き飛ばしてしまったのです。りょうくんの腕には歯形がついていて、泣いています。あゆみ先生は叱りつけました。「いつも、いつも、何度言ったらわかるの?かみつかれたりょうくんの気持ちがわかる?」

これまでさとるくんは、朝の会の時間にも保育室を飛び出してしまい、カバンは決められた場所にも入れず、ブロック遊びに夢中です。お昼ごはんの時間も、一口食べては席を立ち、室内を歩き回り、飲み込んだらまた席に戻ってきます。何度言っても変わらない、さとるくんの行動にあゆみ先生は、ついに爆発してしまい、「席に戻りなさいって言っているでしょ?何度言ったらわかるの?」しかし、さとるくんの行動は変わりません。それどころか、あゆみ先生のスリッパをはいて、外にかけ出して行ってしまったのです。さとるくんにあざ笑われているような気がしたあゆみ先生、大声で叱りつけてもだめ、どう接したらよいかわからないために、ますます落ち込んでしまいます。

あゆみ先生のように、気がかりな子どもを担当する保育士に対して、どのような支援ができるのでしょうか。このコラムでは、あゆみ先生がペアレントトレーニングの考え方に基づいて取り組んだことを、3回に分けてお話ししていきたいと思えます。ペアレントトレーニングとは、子どもの毎日の様子を観察できる人(親、保育士など)に気になる行動を1つだけ決めてもらい、子どもの行動と大人の言葉かけを何日間か続けて記録し、記録結果を見ながら、よい手立てを考えていけるように支援していくやり方です。保育士の先生方の場合、子どもの行動を観察できるだけでなく、子どもへの関わりをどうすればいいかを毎日考えておら

さとるくんに整理整頓を身につけさせるために  
あゆみ先生が  
取り組んだこと

2回目

れるので、記録から見えてくる手がかりが、日頃の保育活動を大きく変える可能性を持っています。

これまでわれわれは、保護者の方だけでなく保育士の先生方にペアレントトレーニングの考え方を何回かに渡ってお話ししてきました。そして実際に記録結果をもとに、対策をいっしょに考えていったところ、大きな変化をもたらしました。ペアレントトレーニングを終えた、お母さんや保育士の先生方のコメントをまとめると以下ようになります。

- ▶ちょっとした工夫だけで子どもの行動が変わっていくのに驚いた
- ▶子どもの困った行動に、今までは思わず叱っていたことが、どうしてその行動をとったのか考えるようになった
- ▶いっしょにパニックにならなくなった
- ▶記録をつけると、子どもが話をしっかり聞き、行動に結び付けようとする姿が見られた
- ▶子どもと一緒に過ごすことが前より楽しくなった

福田恭介 (ふくだ・きょうすけ)

1953年生まれ60歳  
九州大学大学院博士課程心理学専攻修了  
(1986年 文学博士)  
2つの研究に従事、①「目(眼球運動、瞳孔運動、まばたき)は口ほどにものを言う」の本当か、②ペアレントトレーニングの考え方は保育園や学校の先生方にも役立つのか、を調べています。  
現在、福岡県立大学人間社会学部人間形成学科教授。

さばこ cavaco の

そねいけ  
ワークショップ

子どもたちの  
想像力に  
耳をすまそう

Vol.4

アートワークショップでは様々な素材を使用します。素材の手触りや暖かさ、柔らかさや壊れやすさなどを体験し、興味を持ったり、想像力を働かせて素材の中からどれを選択し、どのように加工して創作しようか

と思考を展開していくことは、子どもたちにとって、とても重要だと感じています。私達は紙や布、葉っぱや枝、石や砂などの自然物はもちろんのこと、加工されたピンや洗濯バサミなども素材と呼んでいます。

さて、今回注目する素材は、固いときもあれば、とても柔らかいときもあります。建築に使うこともあれば、お料理で使うこともある、とても身近な便利な素材・・・アルミニウムです。建築ではアルミサッシ、お台所ではアルミホイル。便利なアルミ缶に、日々使っている1円硬貨。私たちの生活の中にはアルミ製品があふれています。アルミニウムは展性(圧縮する力を加えた際の破断せずに自由に変形する能力)が高く、そのため建築資材にもなればアルミホイルのように薄く加工もできるというわけです。アルミホイルの厚みは0.006mm~0.2mm。その薄さゆえ、とても簡単にちぎったり丸めたりすることができますね。この特性を生かして、今回はアルミホイルを粘土のように使ってしまう。乾くのを待つ必要もなければ、手がベタベタになることもない、何とも扱いやすい素材です。(ニッケルやコバルトなどに比べると金属アレルギーを起こすことは非常にまれとのことですが、その点は注意深く観察をお願いします。)

まず、子どもたちに身の回りのアルミニウムについてひと通り説明したら、ちぎり方から教えましょう。怪我防止のため、紙刃のものを選ぶとよいです。全体を平行に引っ張ってもなかなかちぎれないけれど、基点をつくれればすんなり切れることを教えてあげましょ

う。きれいにちぎれたら、ぐるぐるっと丸めてお星様をつくりまします。さらにその塊を新たな一枚のアルミホイルで包み、余ったホイルの端が「つの」になるように指さきで押し固めていきます。何度かそれを繰り返すと、たくさんの「つの」があるお星様のできあがり。このちいさな「星」の王子様、お姫様になれるよう、今度は装いを作っていきます。

基本は、アルミホイルを細長く折って、くしゅくしゅと押しつぶして棒状にするところから始めます。棒状にしたものを大きな輪っかにすれば王冠の基の出来上がり。とても小さな輪にすれば、指輪の基の出来上がりです。アルミホイルとアルミホイルの端を繋げるにはそれぞれの端を交差させてねじるだけで大丈夫。外れそうな場合は接続部をぎゅっと押しつぶすか、アルミホイルをもう一重上から巻いて押さえるだけでOKです。めがね、ネックレス、ベルト、襟飾りなど・・・棒状のアルミホイルからいかに立体の装飾をつくっていくか、頭で考えると難しいようですが、自在に変形するアルミホイルを扱っているうちにだんだんと子どもたちもコツが分かってきます。最後は可愛らしい王子様とお姫様たちのファッションショーと、「わが星自慢」をしてみたいかがでしょうか。

山下麻里 (やました・まり)

グラフィックデザイナー。九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻修了。2007年より九州大学大学院特任教授目黒実氏が主催する「子どもプロジェクト」に企画・デザイン等で参加する。在学中、ユニバーサルデザイン教育を通じた社会貢献活動プログラム[こどもたちのUD移動ミュージアム]にデザインで参加、同プロジェクトはグッドデザイン賞、キッズデザイン賞を受賞した。2012年、福岡市西区に「生の松原子どもスコール」をオープン。



## 保育士の職業紹介所を開設しました

年度途中の入所申込や、保育士の退職等で保育士が必要となった場合などに、「保育士の確保ができず困っています」という声をよく耳にします。

福岡県では、このような事業者の声に応えるため、本年度から福岡県保育士就職支援センター事業を始めました。

この事業を実施するためには、保育に関する知識や経験を有し、保育現場に詳しい職員の配置が必要なことから、当協会が運営を受託し、7月1日からスタートさせております。

保育士（有資格者）として働きたい方（求職者）と、保育士を求めている事業者（求人者）とを仲介、斡旋し、円滑な就職と求人者の支援を行うものです。

利用料（仲介、斡旋）は無料となっていますので、積極的にご活用ください。

詳しいことは、当協会のホームページを検索するか、事務局までお問い合わせ下さい。

### 【お問い合わせ・ご相談】

公益社団法人 福岡県保育協会内  
福岡県保育士就職支援センター

春日市原町三丁目1-7  
TEL 092-582-7955  
FAX 092-582-7956  
(ホームページアドレス <http://www.fphk.jp>)

### 【編集後記】

昨年より引き続き、保育協会通信「みいつけた!」は、デザイナーの方にお願いで紙面構成を実施しております。デザインもさることながら、皆さまに親しまれる広報誌に育っていければと考えています。また、広報部員一同、良い記事や内容を掲載するよう努力をしまいたいと思います。  
猛暑が続き毎日記録更新の日々が続いていますが、本号が皆様方のお手元に届く頃には、この暑さがひと段落している事を望んでいます。

広報部

発行日 平成25年9月10日  
発行者 万田 康  
編集者 半田 義文  
発行元 公益社団法人 福岡県保育協会  
発行所 春日市原町3丁目1-7  
TEL 092-582-7955  
FAX 092-582-7956

## 保育園および園児をさまざまなリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

### 全私保連保険制度

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害保険」「特別保育事業賠償責任保険」など、保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップしています。また、それらを総合的に補償するセットプランもご用意しております。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先どうぞ。

### 園児総合保障共済制度

保育園児を24時間補償する共済制度です。保育者にとっては一般に比べて割安な掛金で補償を確保することができます。

(公社)全国私立保育園連盟指定  
東京海上日動火災保険株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ  
〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

(引受保険会社)

(幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第二部 公務第一課  
TEL：03-3515-4133

(共同引受保険会社) 三井住友海上火災保険株式会社

このご案内は全私保連保険制度・園児総合保障共済制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

